

「人々に宣べ伝えられる」

2016年01月29日

ルカによる福音書 24章 44節～49節。イエスは言われた。「わたしについてモーセの律法と預言者の書と詩編に書いてある事柄は、必ずすべて実現する。これこそ、まだあなたがたと一緒にいたころ、言っておいたことである。」そしてイエスは、聖書を悟らせるために彼らの心の目を開いて、言われた。「次のように書いてある。『メシアは苦しみを受け、三日目に死者の中から復活する。また、罪の赦しを得させる悔い改めが、その名によってあらゆる国の人々に宣べ伝えられる』と。エルサレムから始めて、あなたがたはこれらのことの証人となる。わたしは、父が約束されたものをあなたがたに送る。高い所からの力に覆われるまでは、都にとどまっていなさい。」

上記の御言葉は、ルカ福音書の著者が同時代を生活している教会の人々に教え、諭すために、主イエスの口に乗せて書いたものである。主イエスは復活して弟子たちに現われ、十字架で傷ついた手足を見せ、更に、魚も食べて、復活の事実を示された。弟子たちは、主イエスは生きて、自分たちと共にいてくださると喜びに包まれた。

それから、主イエスは「わたしについてモーセの律法と預言者の書と詩編に書いてある事柄は、必ずすべて実現する。これこそ、まだあなたがたと一緒にいたころ、言っておいたことである」と言われた。旧約聖書の律法、預言書、文学（詩編）に書いてある事柄は、私（メシア）について書かれたものである。これらは全て、必ず実現する。このことは、あなた方と一緒にいた頃、すでに話しておいたと確認させておられる。

更に心の目を開いて、聖書を悟らせるために、言葉が続けられた。聖書は、復活と同じように、肉の目ではなく、心の目で読み、受け止めるのである。主イエスは五つのことを語っている。①「メシアは苦しみを受け、三日目に死者の中から復活する。」聖書が告げるメシア（キリスト）は地上で栄光を現すことなく、人の罪を負って、苦難に沈み込む。しかし復活し、神の命を啓示し、その命を与えてくださる。②「罪の赦しを得させる悔い改めが、その名によってあらゆる国の人々に宣べ伝えられる。」悔い改めとは心と体を神に向きを変えることである。その者に罪の赦しが与えられる。このことは、主イエスの名（十字架と復活）による福音で、この福音はあらゆる国の人々に宣べ伝えられていく。③「エルサレムから始めて、あなたがたはこれらのことの証人となる。」罪の赦しの福音は、エルサレムから始まり、あなた方は証人として、全世界に遣わされていく。この福音宣教のテーマが、ルカ福音書の続編とされる『使徒言行録』で展開されている。④「わたしは、父が約束されたものをあなたがたに送る。」父が約束されたものとは「聖霊」である。神は弟子たちに聖霊を送り、主イエスに現された出来事の真意を悟らせ、聖霊に押し出されて、宣教する者となる。⑤「高い所からの力に覆われるまでは、都にとどまっていなさい。」高い所からの力とは「聖霊」である。聖霊に覆われるまで、この都エルサレムに留まっていなさい。彼らは聖霊降臨の日までエルサレムで待ったのである。

復活した主イエスが弟子たちに語られた言葉は、そのまま初代教会の人々に語られた言葉となった。これらの言葉を聞いた人々は勇気が与えられ、全力を尽くして宣教に励んだ。そこには、十字架と復活によって罪を赦し、「よし」と是認してくださった復活の主イエスが共にいてくださるといふ深い喜びがあった。人は皆、挫折と絶望を経験させられるが、喜びに変えられ（復活し）、福音は伝達されていく。